

# 雲北陵月報

No. 401

平成31年1月31日  
出雲北陵中学高等学校  
土江明文社 印刷



## 年頭にあたって

高校教頭 森 本 恭 一

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年の干支は十二支の最後の「亥」です。「亥」は季節でいうと冬で、春の芽吹きまで、じつと固い種の中でエネルギーを内にこめている状態のことをいいます。今年五月の改元が発表されたため、昨年の五月からイベントには続々と、「平成最後の〇〇」というフレーズがつけられていました。平成最後の新年を、十二支最後の「亥」で迎えるのも何か運命的なものを感じます。平成の時代に積み重ねた教訓をエネルギーとして、新たな時代に生かしていきたいものです。

では、平成で生かした昭和の教訓とは何だったのでしょうか。昭和の大きな教訓として、太平洋戦争で敗戦国になったことが挙げられます。明治維新以来、軍事力を強化することにより、欧米の先進国に追いつこうと走り続けてきた日本にとっては最悪の結果でした。日本の国土が戦場となり、多くの尊い命も失われました。しかし、その後は戦争をしない国として経済発展を遂げたのが昭和という時代だったと思います。

国際社会では平成元年、ベルリンの壁が崩壊し、世界も日本と同じように平和

に向かっていくのではという希望を感じました。しかし、現実には違いました。世界大戦とまではいかなくても戦争は起こりましたし、民族紛争や宗教による対立も相変わらず起こっています。テロも国際社会での大きな問題です。そんな平成という時代を、日本は昭和の教訓を生かして戦争を起こさず、内紛もなく終えようとしています。「平和」は次の時代にも引き継いでいくべき教訓であることは間違いないでしょう。また平成七年に起きた阪神淡路大震災以降、北海道から九州まで全国的に大きな震災に見舞われました。その度に、ふるさとを復興しようと必死に努力を続ける被災者の方々、被災地の復興を支援する日本全国の人々の姿勢は、日本の誇るべき民族性だと思います。もし、日本が戦争中であつたり、内戦中であつたりしたなら、このような現実が目の前にはなかったはずですが、明治から平成にわたって蓄積した伝統というエネルギーを、これからも生かしていかななくてはなりません。中学生や高校生の皆さんと共に、新たな時代の第一歩を力強く踏み出し、そして歩んでいきたいと考えておりますので、本年もよろしくお願い致します。

## 男子バスケットボール部

### ウィンターカップ惜敗

第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会  
時 12月23日  
於 武蔵野の森総合スポーツプラザ  
1回戦

|    |    |    |      |    |
|----|----|----|------|----|
| 本校 | 79 | 19 | 20   | 19 |
|    | 8  | 13 | 19   | 20 |
|    | 12 | 26 | 12   | 13 |
|    |    |    | 83   |    |
|    |    |    | (延長) |    |
|    |    |    | 文星大学 |    |
|    |    |    | 附属高校 |    |
|    |    |    | (栃木) |    |

#### ○大会総評

お互いにインターハイに出場したチーム同士の戦いとなった。善戦したものものの延長の末、僅差での敗退となった。前半は本校らしい走力を生かした試合内容であったが、後半は動きが止まった場面が多くなり、残り3秒で同点のシュートを決められて延長戦になった。延長では相手の勢いを止めることができず、4点差で敗れ、今回も全国大会での勝利を手にすることができなかった。

3年生にとっては最後の大会であり、ここまでチームを引っ張ってくれた3人には悔しい結果となり残念であった。しかし、1・2年生にはこの経験を忘れず、普段から全国を目指した練習を意識し、来年度もこのコートに立つて欲しいと強く感じた。

最後になりましたが、保護者の皆様をはじめ、たくさんの方々から多くのご声援をいただき誠に有難うございました。

(顧問 椿 英史)



## 吹奏楽部・合唱部

### 平成30年度島根県児童生徒学芸顕彰式

時 12月26日  
於 ホテル白鳥

平成30年度島根県児童生徒学芸顕彰式が行われ、本校からは全国大会に出場した吹奏楽部・合唱部と、全日本高等学校声楽コンクールに出場した伊藤美心が学芸顕彰を受けた。

式には、吹奏楽部副部長の當紗也香、合唱部部長南波和加奈、伊藤美心の3名が出席し、教育長より顕彰された。

この賞に甘んじることなく、更に飛躍できるよう変わらぬ精進していききたい。



### 井上美代教諭 第68回日本スポーツ賞受賞

去る1月11日、東京のウェスティンホテルにて、第68回日本スポーツ賞の表彰式が行われ、本校の井上美代教諭をはじめ、本校卒業生を主体とする島根県チームが受賞した。

昨年、5月に行われた第59回都道府県なぎなた大会に於いて、島根県勢が初優勝したことが評価され、受賞となった。



# 卓球部

## 平成30年度島根県卓球選手権大会

時 12月22・23日  
於 松江市総合体育館

〔男子団体〕  
優勝(2年ぶり11回目)

〔出場メンバー〕

山本駿介(22歳)、武 凱(22歳)

三村悠斗(12歳)、原田哲多(中3)

〔男子シングルス〕

3位 原田哲多

〔男子ダブルス〕

優勝 三村悠斗・原田哲多 組

○大会総評

小学生から社会人まで、すべてのカテゴリーの選手が出場する大会で2冠を達成できたことは、選手にとって自信になったと思う。今後は3月の全国選抜大会に向けて、日々精進していきたい。

(顧問 古瀬泰之)

## 第28回西日本選抜卓球大会

時 1月4・5日  
於 カミアリーナ

〔男子団体〕

3位

〔出場メンバー〕

武 凱、三村悠斗

山腰洋平(12歳)、原田哲多

○大会総評

決勝リーグで招待チームの福岡大学に敗れたものの、全国合宿でレギュラー3人を欠く中、3位に入賞することができた。夏以降の練習で選手個々の力は付いてきていると感じている。今後は試合が続くが、コンディションを整えて、良い成績が収められるように頑張りたい。

(顧問 古瀬泰之)

## 平成30年度全日本卓球選手権大会

時 1月14・20日  
於 大阪市中央体育館

〔ジュニア男子シングルス〕

1回戦敗退 井上友希(23歳)

2回戦敗退 三村悠斗  
3回戦敗退 山本 歩(11歳)

○大会総評

明確になった課題を日々の練習で克服し、今後の大会で活躍できるよう頑張りたい。

(顧問 古瀬泰之)

## 男子バスケットボール部

### 第53回島根県高等学校バスケットボール新人大会

時 1月11・13日  
於 松江商業高校他

〔男子〕

2回戦

本校 65-60 浜田商業

準々決勝

本校 86-49 松江南

準決勝

本校 51-61 松江東

3位決定戦

本校 57-69 松江工業

4位

○大会総評

新チームになって初めての公式戦であったが、中国大会出場を逃す結果となった。初戦からチームとして機能せず、苦しい試合が続いたが、今後は春の県大会を目指し、チーム力を向上できるように練習に励みたい。

当日は保護者の皆様をはじめ、多くの方々に応援をいただき誠に有難うございました。

(顧問 椿 英史)

〔女子〕

2回戦

本校 69-53 大 社

準々決勝

本校 79-55 松徳学院

準決勝

本校 67-60 松江東

2位

本校 69-77 松江商業

○大会総評

決勝の松江商業戦では、前半から思うようにプレーができず、苦しい展開となった。後半徐々に追い上げ、あともう少しの所までできたが、力及ばず悔しい敗戦となった。今回の敗戦を忘れず、ひたむきに精進してもらいたい。最後に応援いただいた方々に感謝申し上げます。

(顧問 篠原勝利)

# ソフトテニス部

## 島根県高等学校ソフトテニス選手権大会

時 12月24日  
於 鹿島総合体育館

新人戦上位ベスト32ペアが出場する大会に本校からは5ペアが参加したが、ベスト8が最高という結果であった。

(顧問 佐々木雄志)

## 第9回中国高等学校ソフトテニス新人大会

時 1月18・20日  
於 府中市立総合体育館

予選リーグ

本校 ②-① 下松工業(山口4位)

本校 ②-① 呉 港(広島3位)

決勝トーナメント

1回戦 本校 ③-① 倉敷工業岡山5位

準決勝 本校 ②-① 倉敷南岡山4位

決勝 本校 ②-① 岡山南岡山3位

優勝(県勢として初)

〔団体メンバー〕

日野輝雄大(23歳)、福島悠馬(22歳)

今岡純也(24歳)、矢田和真(24歳)

吉岡文瑠(24歳)、白築椋真(15歳)

杉本啓佑(15歳)、安田 稜(15歳)

○大会総評

中国5県の新人戦3位、4位校を集めた大会であった。予選リーグを全勝で抜け、決勝トーナメントも接戦を競り勝ち、県勢としては初の優勝となった。上位大会へ出場できなかった悔しさを忘れず、夏に向けて更に精進したい。遠方まで応援に来ていただいた保護者の皆様、有難うございました。

(顧問 佐々木雄志)

## 吹奏楽部

### 出雲北陵高等学校吹奏楽部ウィンターコンサート

時 12月22日  
昼の部 14時 開演  
夜の部 18時30分開演

於 出雲市民会館大ホール

12回目となる「ウィンターコンサート」を開催した。本公演は、吹奏楽部の1年生を締めくくるコンサートであり、3年生

にとつては最後のステージとなる。

第1部では、本年度の吹奏楽コンクールやマーチングコンテストで演奏した曲目を吹奏楽で演奏した。

第2部では、毎年恒例となった本校なぎなた部の演奏と、吹奏楽の演奏のコラボレーションステージを披露し、なぎなた部の迫力ある演奏にお客様から大きな歓声と拍手をいただいた。

第3部では、「美女と野獣」をテーマにステージドリルを行い、美術科の石倉教諭のご協力をいただき、スベクタクルなショーとなった。

部員達は万感の思いを込めた演奏を披露し、素晴らしいコンサートとなった。当日は2公演で1600名を超えるお客様にご来場いただき、盛会裡に終えることができた。多方面にわたる皆様のご支援に感謝し、これからも地域に愛されるバンドを目指し、変わらず精進していきたい。

(顧問 原田 実)



## 第42回全日本アンサンブルコンテスト県大会

時 12月23日  
於 石中央文化ホール

本校からは2チームが出場し、美しい音色で素晴らしい演奏を披露し、会場を魅了した。結果、島根県代表として、2月に広島文化学園HBGホールで行われる中国大会への出場権を獲得した。

中国大会では、更に質の高い演奏ができるよう精進していきたい。

(顧問 竹内康貴)

・木管3重奏 金賞・県代表

・ディベルティメント/M.アーノルド

・金管8重奏 金賞・県代表

第7旋法によるカンツォン 第2番

G. ガブリエリ



## 合唱部

### 第22回クリスマスコンサート

時 12月24日

於 ビッグハート出雲白のホール

第1部で本格的な合唱曲をお聴きいただいた後、第2部では今年も皆さんお楽しみの「紅白歌合戦」を実施。白組はハモニーを重視し、すべてアカペラの曲を歌うことで、男声の重厚な響きを楽しんでいただいた。一方、紅組はダンスを取り入れたり、観客席の中で歌を歌うこととお客様へのアピールを前面に押し出していた。結果、紅組が勝利を収めた。

第3部では昨年の続編として「天使にラブソングを2」を上演した。今年はこれまでと違い、演出、振付、照明、歌唱指導等、すべて生徒達のみで創り上げた。本当に素晴らしい出来栄であった。

第4部では、ダンスを交えながら恒例のクリスマスソングを歌った。  
中・高3年生にとっては最後のステージとなったが、それに相応しい、部員が団結して取り組んだ演奏会となった。多くの方々にご協力いただきましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。(顧問 石橋久和)



## 一斉書写

1月9日、新年の始まりとして「書き初め」にもなる、今年度3回目の「一斉書写」を実施した。

生徒達は墨と筆に思いを込めて一心に書き上げていったが、張りつめた空気の中、すがすがしさを感ぜながら気持ちよく新年のスタートが切れたように思う。



創立者 水谷キヲ先生

## 命 日 墓 参

本学園創立者水谷キヲ先生を偲び、命日にあたる1月16日放課後、中学、高校の新生徒会長、副会長5名が墓参のため大念寺に向かった。

本年は学園創立百十周年を迎える節目の年である。全校生徒の代表として訪れた新生徒会長らは墓前で手を合わせ、生徒会の発展に向けて改めて決意を強くした。

新生徒会長を中心に、更に活力に満ちた出雲北陵中学・高等学校になることが期待される。



## 中学校

### 卓球部

#### 第48回後藤杯卓球選手権大会(名古屋オープン)

時 1月5・6日

於 日本ガイシスポーツプラザ

(男子カデット)  
ベスト8 杉浦大和(中2)  
ベスト32 佐藤卓斗(中1)  
予選リーグ敗退 藤村隼翔(中2)  
森口 諒(中1)

#### ○大会総評

キャプテンの杉浦が頑張り、昨年入賞を果たした原田に続き、今年度もランキングに入ることができた。次年度以降もこの結果を続けていきたい。(顧問 相場翔太)

### 女子バスケットボール部

#### 第32回西日本中学生バスケットボール交歓大会

時 12月26・28日

於 山陽ふれあい公園体育館

六番川水の公園体育館

予選リーグ(二次)  
本校 60-44 羽ノ浦中(徳島)

本校 86-32 富雄中(奈良)

順位リーグ(二次)

本校 45-44 竜操中(岡山)

本校 60-40 近江兄弟社中(滋賀)

決勝リーグ

本校 49-40 直方第一中(福岡)

本校 38-67 樟蔭中(大阪)

#### 準優勝

#### ○大会総評

各県の上位チームと対戦することができ、とても良い経験になった。準優勝という結果で自信を持つこともできた。各チームから多くを学び、課題も見つかった有意義な大会になった。保護者様をはじめ、応援してくださった方々に感謝しております。有難うございました。

(顧問 三島圭一朗)

#### 第40回山陰中学校選抜バスケットボール大会

時 1月5・6日

於 鹿島総合体育館

予選リーグ 本校 60-29 香東中(香川)

決勝リーグ 本校 59-31 安来一中

本校 54-65 松江一中

3位

○大会総評

本大会には県内6チーム、県外6チームの合計12チームが出場した。決勝リーグで松徳学院中、松江一中に敗れ、悔しい思いをした。結果をしっかりと受け止めて、今の課題の克服に向けて努力を続ける。(顧問 三島圭一朗)

## 書 初め

1月9日、中学校では毎年恒例の書き初めを行い、一人ひとりが今年一年の目標や決意などを言葉にした。今回は行書体挑戦したが、楷書体とは異なる筆運びや点画に気をつけながら、生徒達は真剣な目差しで黙々と



半紙に向き合っていた。(担当 八木世津子)

### 第3回 校外講師特別講座

2学期末保護者会に併せ、元公立中学校校長の岩崎巖先生をお招きし、「わくわくどきどき 心地よく」と題して講演会を開催した。岩崎先生は、視覚障害になられてからハモニーカと出会い、練習を重ねられ、今では24本を使い分けて地域のイベントやコンサートなどで演奏活動をされている。当日は中島みゆきの「地上の星」など、心に響く演奏と講演で一時の間があつたという間に過ぎた。

生徒達は岩崎先生の苦勞を感じさせない前向きな姿勢や穏やかな人柄に触れ、勇気と元気をいただいた。



### NIE教育「新聞教室」の開催

時 1月16日

本校は、28年度からNIE教育の指定校となり、新聞を活用した教育を実践している。10月・11月まで7社の新聞が毎朝配達され、図書・学習ルームで読み比べることができる。

今回、1年生を対象に「新聞教室」を開催した。講師として読売新聞社の霜田聖支局長、山陰中央新報社の水野幸雄事務局長をお招きし、新聞における記事の書き方やレイアウトの基本を学んだ。1年生は今年、「国宝松江城を中心としたふるさと島根歴史巡り」と題して松江に赴き、松江城や武家屋敷などを訪れて取材をしてきた。その成果を新聞にまとめ、2月の「総合的な学習の時間」発表会で班ごとに披露する。どのような発表になるか、今から楽しみである。

## 作品と研究

## 中学校書初め作品より

中学生は今年の目標や抱負、大切にしたい言葉を選んで書初めをしました。一年生は行書体に初めて挑戦し、筆運びや点画の変化に苦戦しながら書き上げました。

## 作品①

笑

葉甫

「笑」

この字には大きく分けて「わらう」と「何かをして欲しいと頼むときの謙遜した言い方」の二つの意味があります。私は「わらう」の意味で、この「笑」という漢字を選びました。これから勉強がもっと難しくなりますし、部活動では自分にも後輩ができて悩むこともあると思います。そのときに、怖い顔をするのではなく、笑って色んなことに一生懸命にできるような一年にしたいと思い、この漢字にしました。

篠原 葉甫(中1勉)



## 作品②

水泳

知史

「水泳」

僕は趣味で水泳をやっていますが、なかなかタイムが安定せず、上がったり下がったりを繰り返しています。今年は頑張っていて、タイムをどんどん上げていきたいと思っています。また、僕はクイックターンが上手くできないので、もっと上手くできるようにがんばりたいという願いも込めて、「水泳」を選んでみました。

須谷 知史(中1勉)

## 作品③

目標

桐原七海

「目標」

何もかも中途半端で終わらせたくない自分のしたいことを目標にし、最後までやりとげたいと思います。勉強の目標は志望校に受かること!! 毎日一時間勉強するようにしています。部活動の目標は全中出場!! 今までやってきた大好きなバスケットボールで悔いを残さないように、目標は高いですがやっていきたいと思っています。目標に向かって頑張ります!!

桐原 七海(中2勉)

## 作品④

音楽

中林桃子

「音楽」

私がこの言葉を選んだ理由は、もともと音楽について学びたいと思っていますからです。私には音楽の歴史や理論など、まだまだ知らないことがあります。知ることと変わるものがあるのではないのでしょうか。例えば、歴史を学ぶことで今ある知識や技術に深みが出て、演奏するときの音の響きや顔の表情も変わると思えます。今年は音楽を楽しみながら学び、色々なことをもつととたくさん知っていききたいです。

中林 桃子(中2四)

## 作品⑤

飛翔

倅生

「飛翔」

なぜ私がこの漢字を選んだのか。それは、これから勉強でもスケートでも高く飛び上らなければいけないからです。勉強では公立の高校を目指し、試験に向けて意識を高く持って飛び上がらなくてはなりません。スケートではジャンプを今よりももっと高く飛び上がらなくてはなりません。そのため、この言葉はよい目標となります。また、飛翔にはめぐる

伊藤 倅生(中1北)

## 作品⑥

賢明

村田遙

「賢明」

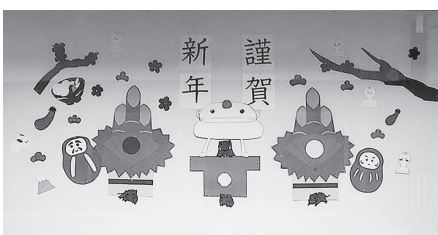
私は今年の言葉を「賢明」にしようと思っています。理由は二つあります。まず、自分が言葉のようになりたいからです。高校生になるということは中学生より大人に近付くということです。だから、高校生らしい賢い判断ができたかと思いましたが、そして、世界もそうであって欲しいからです。無意味に起こる紛争や犯罪が「0」になつたらいいという希望も込めました。言葉の通り有言実行できるように頑張ります。

村田 遥(中3三)

という意味もあります。だから、新しい学校でもいい出会いがあるようにこの漢字にしました。

今月1枚

新年の飾り付け



美術部による  
「北陵まちなか美術館」での展示  
(出雲市今市町)